

大善寺の変遷

新庄から大溝へ

高島の中世から近世にかけての歴史を構成する重要な寺院として大善寺があります。現在、市内には、2か寺の大善寺があり、新旭町新庄と勝野の山手に所在します。『高島郡誌』（昭和2年刊行）には《大善寺 新儀村大字新庄字東町に在り、【中略】創建は延暦年間（782～805）にして熊野山（今の饗庭野）の堂立山にありしが寛平年中（889



大善寺（新庄）

（897）東河原村（現在の新庄）に移れり。【中略】織田信澄（信長の甥で養父は磯野員昌新庄城主）は大溝城下に別院を建立せしむ。（一部加筆）とあるとともに、勝野の大善寺については次のように記しています。《天台宗眞盛派坂本西教寺末に属す。【中略】本寺は新莊村に在る大善寺の別院として天正六年（1578）織田信澄が創建したるものなり、此時萩濱に移転し、【中略】延宝4年（1676）4月当寺の位置湖水



大善寺（勝野）

に臨み水害多きを以て此に移転す。（一部加筆）とあります。このことから、勝野の大善寺は、新庄の大善寺の別院として大溝城下に創建され、一時期萩の浜にあったことがうかがえます。

湊の大善寺

勝野（現在の湊組自治会）には勝野日吉神社の御旅所があり、その境内地の北東隅に2本の石柱があります。向かって左の石柱には「表 天台宗眞盛派大善寺 裏 明治20年7月 建立」とあり、右の石柱には「大善寺旧跡」とあることから、萩の浜にあったとされる大善寺別院は、現在の勝野湖岸に所在していたことが分かります。

この地域は、湖上から大溝港に出入りする際、一番目に付く位置であり、大津方面から西近江路を北上すると大溝城下の手前に位



大善寺旧跡（湊）

置します。このことから、主信澄が大善寺別院を、湖路と陸路の要であった大溝港の防御のために配置したことが考えられます。

☎ 高島歴史民俗資料館
(36) 1553

編集感

今月号の表紙は3月に実施した春の火災予防運動のなかで一日消防署長を務めた「りりかる*ことばお」さんです。りりかる*ことばおさんは、市を盛り上げるためにさまざまな活動をされています。このように高島市をより良くしようと考える人が増えると良いですね。そして、広報として市の魅力をどんどん発信していきたいです！（K）



広報たかしま

令和4年

4

月号

No.267

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課

〒520-1502 滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎ 0740(25) 8000(代)

http://www.city.takashima.lg.jp
t:info@city.takashima.lg.jp